

「コロナ感染防止対応 競技会」開催ガイドライン

6月末現在、新型コロナウイルス感染状況が一時期に比べ落ち着きの様子を見せていますが、海外では未だに拡大している模様です。又、第二次感染拡大の恐れもあり、予防対策の手を休めることはできません。

このような状況下「新しい生活様式」(ウィズ コロナ)の提案も呼びかけられ、三密対策、マスク着用、手指消毒や手洗い、対人距離 $2m$ 等のこれらは今後も続けていく必要があります。

JDSFとしては、これらの状況や実態を考慮した上で、今後の競技会運営方法を検討し「コロナ感染防止対応競技会」の開催ガイドラインを作成しました。

主催団体は、競技会の開催にあたり、関係省庁、上部団体、自治体等の新型コロナウイルス感染防止対策や施設会場の使用条件を遵守し、下記の開催ガイドラインに留意して開催してください。

尚、今回のガイドラインは6月末の関係省庁、上部団体、自治体等のガイドラインや情報を基に作成しました。

これらのガイドラインや情報は随時更新されています。競技会主催団体におかれましては、下記のガイドラインを基本としますが、競技会開催時期の最新の関係省庁等の感染予防対策、施設の使用規定などに基つき、地域の状況に応じた競技会を、感染予防の自覚と責任を持って開催してください。

基本対策

1, 三密状態(密閉、密集、密接)排除対策

定期的に室内の換気をする。 使用人数制限を守る。 対人距離 $2m$ の保持を図る。

2, 接触対策

こまめな手指消毒と手洗い。 接触部分の定期的消毒等の対応を講じる。

3, 飛沫感染対策

マスク類の着用。 拡散防止対策(透明ビニールスクリーン等)。 対人距離 $2m$ の保持を考慮する。

4, 体調管理

入場者健康チェックシートの記入と回収。 入場前の体調確認と入場制限に対応する。

具体的取り組み

I、大会主催者が遵守すること

1、感染予防策や施設会場等の利用規則の遵守 (選手 1 カップルは 1 組(一人)と捉えて対応)

①入場者のマスク着用(選手も原則として着用する)。 担当部署によってはフェイスシールド等も着用。

②手指消毒とこまめな手洗いを促す。

③三密状態排除の具体的対策を検討実施する。

④健康チェックシートの記入と提出(役員、審判員、選手等、入場者全員に協力を求める) ・別紙参照

・健康チェックシートは JDSF ホームページよりダウンロード、又は所属加盟団体より写しを取り寄せ、当日朝に記入して、選手受付や大会責任者に提出する。

・大会終了後2週間以内に感染者が発生した場合、自治体の関係部署と当日参加者に報告連絡する。

・チェックシートは個人情報保護に十分留意し、最低1ヶ月は責任者が保存し、不要となった時点にはシュレッダーにかけ処分する。

⑤対人距離 $2m$ 保持等のフィジカルディスタンスに配慮する。

(フィジカルディスタンス:身体的、物理的距離を指す、WHO 推奨。ソーシャルディスタンスは社会的距離、人の孤立化を避ける)

2、シラバス記載内容（地域の状況に応じたコロナ感染予防対策を記載し、通常と異なる内容を明記する）

- ①新型コロナウイルス感染予防対策や各種制約順守等を明記する。
- ②収容人数の制限。（無観客で実施のこと。出場選手と大会役員のみ入館）
- ③エントリー申込み。（申込み期間の限定や人数制限がある場合抽選又は先着順の表記）
- ④練習タイムなし。（接触回避を図るため）
- ⑤下記「競技関連規程緩和」適用の場合は記載する。（演奏時間、種目数減）

3、競技会運営上での感染予防と接触回避の工夫

- ①スタッフ対応人数。感染予防のための定期的巡回と必要箇所の消毒、確認チェックシートの作成と記入。
- ②選手受付の三密対策の工夫と方法を考慮し実施する。
- ③選手控えスペース(1組 2m×2m)の確保。定期的換気(30分につき5分)。食事の取り方(順番制等)。
- ④入退場一方通行等。人の密集を避ける流れを検討し実施する。
- ⑤審判員マスク(フェイスシールド)の着用。
- ⑥採点集計、接触回避の工夫。（リアルシステムの活用）
- ⑦結果掲示、結果案内表示やアナウンス等での工夫をする。
- ⑧表彰式、接触回避の工夫。（賞状順次手渡しのみ等）

Ⅱ、出場選手が遵守すること

1、感染予防策、施設会場等の利用規則や制限の遵守（選手1カップルは1組(一人)と捉えて対応）

- ①下記の項目に該当する場合は、出場することはできない。
 - ・本人、同居家族等、知人に感染者や感染の疑いがある場合。
 - ・2週間以内に海外渡航経験がある場合。
 - ・健康チェックシートの発熱等の異常欄に該当する項目がある場合。
- ②競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに競技会主催団体と所属団体に報告する。
- ③関係省庁、上部団体、自治体、施設会場、及びJDSFの感染予防対策やガイドラインを遵守する。

2、大会当日に守るべきこと

- ① 当日朝にチェックシートの発熱等の異常欄に該当する項目がある場合、出場を断念し参加しない。
- ② 上記基本対策の4項目は、常に意識し、遵守すること。
- ③ 主催者が決めた指示内容を遵守協力し、感染防止に努める。（守れない場合は施設退場もありうる）
- ④ 競技中のマスクは脱着を認めるが、外したマスクは感染予防を踏まえて自己管理とする。
- ⑤ ペットボトルの空容器や食べ残し等は、感染防止のため必ず家まで持ち帰ること。

『 2020年競技関連規程の特例緩和 』

- ・コロナ対策の特例として2020年の期間限定（2021年以降は別途検討）
- ・競技中に他者と接触する機会を少しでも回避させるため
- ・選手の感染予防と体調の維持管理のため

- 1、競技中に他者との接触を避けるために、1ヒートの出場組数を減ずることを推奨する。
- 2、さらにアップ数を減らすことで、予選及び準決勝の演奏時間を1ヒート、10組以下の場合、UP数が5組以下なら演奏時間を60秒以上でも可とする。
- 3、C級戦以上とシニアⅡのB級戦以上の種目数の削減を可とする。但し単科戦はなしとする。
 - ・A級戦は、最終予選以上4種目でも可(最終予選未满是3種目でも可)
 - ・B級戦は、最終予選以上3種目でも可(最終予選未满是2種目でも可)
 - ・C級戦は、最終予選以上2種目でも可(但し最終予選未満も2種目でも可)
 - ・シニアⅡのA級及びB級戦は、最終予選以上2種目でも可(但し最終予選未満も2種目でも可)

【本件の問合せと連絡先】

(公社)日本ダンススポーツ連盟

TEL 03-6457-1850 FAX 03-6457-1857

E-mail kaiin.information@jdsf.or.jp

山口競技本部長 蒲生競技部長 大塚管理部長